

# こんにちは 牛越です

【第178回】  
不祥事に深く  
お詫び申し上げます



大町市長  
牛越 徹

感じております。

一方で、このような状況の中でも、多くの職員は日々、市民の皆さまに向き合い懸命に業務に当たっており、真摯まじしに働く職員の手本が決まっています。私どもの先頭に立ち、再発防止と信頼回復に粘り強く取り組み重い責務があります。

先月の市議会6月定例会でも、議員から原因の究明や対応策などについて、厳しいご質問をいただき、市長として、職員個人の面と組織の課題の両面から対策をしっかりと講じていくことにより、根本的な解決に向けて力を尽くすことを答弁いたしました。

今回起きた事案の詳細な内容や要因など、今後公判の審理において明らかになる結果を慎重に見極め、当事者および理事者を含む関係職員の責任を明らかにし、時期を逸することなく厳正に対処いたします。どうぞ、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

このたび、市職員が公共施設の設備工事の入札妨害などで逮捕、起訴されましたことは、誠に遺憾であり、市民の皆さまに心からお詫び申し上げます。

一昨年、市では不祥事が続いたため、事案ごとに原因を検証し、職員相互のチェック体制の強化を図り、業務のあり方を見直すとともに、全職員に市長メッセージを送り、コンプライアンス(法令順守)の徹底に努めてまいりました。事案が起きる要因は、個々の行為が原因であり、当事者に非がありますが、決して個人の問題として片付けるのではなく、その根本にはコンプライアンス意識の欠如があり、根本的な解決には、職員一人一人の意識の徹底とこれを実践するよう定着を図ることが不可欠です。

そこで、昨年から全庁を

挙げて不祥事を決して他人ごととせず、職員自身が真剣に考え、自ら行動すべきことについて語り合い、役所の新たな組織風土を創り上げるため、昨年1月から13回、300人余の職員が参加し、小グループごとの対話を行ってきました。

ここで出された「職員間のコミュニケーションが少なくなった」「他の部署の業務に理解や関心が薄い」などの意見を基に、本年度コンプライアンス推進の指針とこれに基づく具体的な取り組みを実施計画として策定します。この目に見える具体的な目標を示すことにより、職員の意識や行動の変容につなげてまいります。しかし、こうした取り組みの最中に、市の信頼を損ねる事案が再び発生したことに伴い、信頼回復はいっそう容易ではないことを痛